

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 4 年 5 月 23 日

静岡県知事 川勝平太 殿

提出者

住 所 静岡県牧之原市勝田1258番地

氏 名 有限会社 木下組
代表取締役 木下 章

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0548-28-0332

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 木下組
事業場の所在地	静岡県牧之原市勝田1258番地
計画期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	令和3年度：元請完成工事高 17,000万
③ 従業員数	9名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	排出現場⇒収集運搬（自己運搬・委託会社）⇒処分委託会社

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和3年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	1,458.230 t	t
	(これまで実施した取組) 工事の種類や数により排出量の変動は起きるが、リサイクル率を上げ分別を心掛ける		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	1443.462 t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状と同じ		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスファルト、コンクリート、木くず、建設混合廃棄物、廃プラ、ALC
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスファルト、コンクリート、木くず、建設混合廃棄物、廃プラ、ALC

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	1,458.230 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	360.580 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,097.650 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 作業現場で発生する産業廃棄物は分別し再生利用業者、優良認定処理業者へ処理を委託する。		

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	全処理委託量	1,443.462	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	356.789	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,086.673	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	t
	(今後実施する予定の取組) 発生量に応じて、自社運搬または収集運搬委託契約をし、廃棄物の種類に応じて処理委託業者を選び全委託する。			
※事務処理欄				

備考 請 じ ま と。	<p>1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。</p> <p>2 当該年度の6月30日までに提出すること。</p> <p>3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。</p> <p>(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。</p> <p>(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じた事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。</p> <p>(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。</p>
中 間 量 行 取 あ へ と の 入	<p>4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。</p> <p>5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。</p> <p>6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。</p>
	<p>7 ※欄は記入しないこと。</p>

令和3年度 産業廃棄物の状況

有限会社 木下組

種 類	実績目標				令和3年度実績 (t)				令和4年度目標 (t)			
	発生量	処理委託量	優良業者委託量	再生業者委託量	発生量	処理委託量	優良業者委託量	再生業者委託量	発生量	全処理委託量	優良業者委託量	再生業者委託量
アスファルト・コンクリート破片	740.360	740.360	9.000	731.360	732.956	732.956	8.910	724.046				
コンクリート破片	348.400	348.400	348.400	0.000	344.916	344.916	344.916	0.000				
伐採材・伐根材	366.290	366.290	0.000	366.290	362.627	362.627	0.000	362.627				
管理型建設混合廃棄物	1.300	1.300	1.300	0.000	1.300	1.300	1.300	0.000				
ALC(軽量気泡コンクリート)	0.200	0.200	0.200	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000				
廃プラスチック類	1.680	1.680	1.680	0.000	1.663	1.663	1.663	0.000				
合 計	1,458.230	1,458.230	360.580	1,097.650	1,443.462	1,443.462	356.789	1,086.673				